



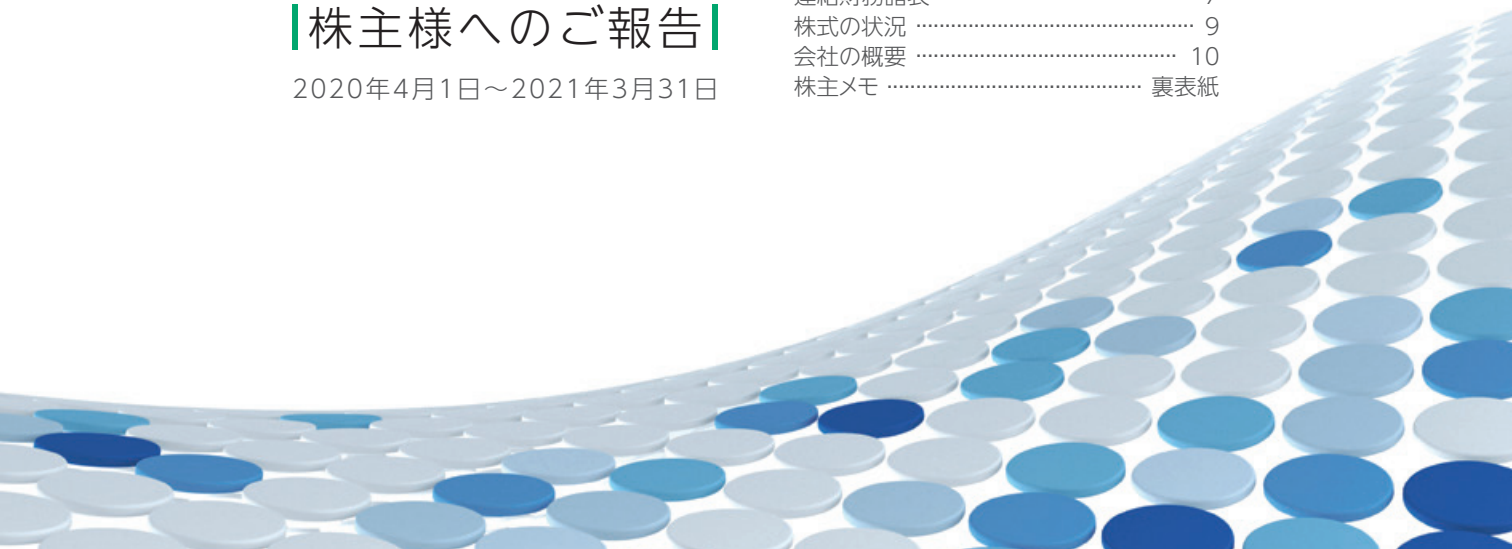
第74期 株主通信

株主様へのご報告

2020年4月1日～2021年3月31日

contents

株主の皆様へ	1
セグメント別事業の概況	4
トピックス	5
丸文の豆知識 ～丸文ウエストの紹介～	6
連結財務諸表	7
株式の状況	9
会社の概要	10
株主メモ	裏表紙





株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

このたび、第74期（2020年4月1日から2021年3月31日まで）の報告書をお届けしますので、ご高覧のほどお願い申し上げます。

株主の皆様には、より一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長
飯野 亨



Q1

当期の事業概況を聞かせてください。

A1

POINT

売上高は微増したものの、親会社株主に帰属する
当期純損益は2,133百万円の損失となりました。

2020年度におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況にある中、感染拡大の防止策や政府の経済政策、海外経済の改善などにより、生産や輸出を

中心に持ち直しの動きが見られました。しかしながら、足元では新型コロナウイルス感染症の収束時期が未だ見通せず、依然として先行き不透明な状況にあります。

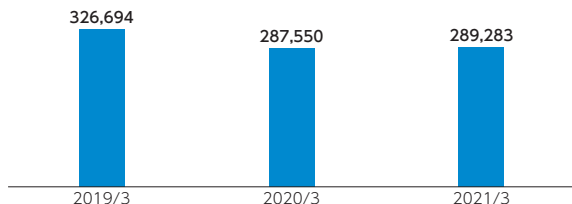
当社グループが属するエレクトロニクス業界におきましては、在宅勤務やオンライン授業などライフスタイルが変化し、その変化に伴ってPCや通信機器、民生機器向けの需要が好調に推移いたしました。当該製品に組み込まれる半導体や電子部品の市場も拡大し、半導体製造関連機器の需要も高まりましたが、企業の設備投資については全般的に慎重な姿勢が続きました。

こうした状況のもと、2020年度における当社グループの売上高は、前年同期比0.6%増の289,283百万円となりました。一方、利益面では、相対的に利益率の高い商品の売上が低調であったことに加え、期中の円高進行で円ベースの売上総

売上高

(単位:百万円)

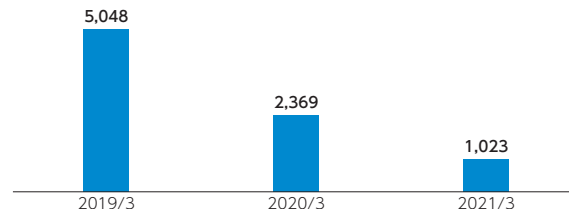
289,283百万円



営業利益

(単位:百万円)

1,023百万円



利益が押し下げられたことにより、営業利益は前年同期比56.8%減の1,023百万円となりました。営業外損益では、第4四半期に円安に転じたため、期末の外貨建て債務の評価損が発生し、通期で333百万円の為替差損を計上したことから、経常利益は前年同期比98.3%減の33百万円となりました。また特別損失として、投資有価証券評価損1,350百万円および希望退職者募集に伴う特別退職金1,229百万円を計上した結果、親会社株主に帰属する当期純損益は2,133百万円の損失(前期は75百万円の親会社株主に帰属する当期純損失)となりました。

Q2

次期の見通しを教えてください。

A2

POINT

業績の回復を見込み、経常利益は3,000百万円予想しています。

2021年度の経済見通しにつきましては、ワクチン接種による新型コロナウイルス感染症の収束や各国の経済政策の効果により、社会経済活動の緩やかな回復が期待される一方で、米中貿易摩擦などをはじめとした通商問題の影響や金融資本市場の動向など予断を許さない状況も続くものと思われます。

当社が属するエレクトロニクス業界では、世界的な半導体不足が懸念されておりますが、足元では生産拡大にむけて半導体設備への積極投資が行われております。また自動車市場でのEV化の加速による電子デバイスの需要増や、政府のデジ

タルトランスフォーメーションの推進に伴って5G通信をはじめとした通信関連市場の拡大、AI・ロボット技術の進展が見込まれる状況にあります。

このような環境のもと、2021年度の業績につきましては、システム事業では、新型コロナウイルス感染症の影響により前期から見込んでいた航空宇宙関連機器やレーザ加工装置の期ずれによる当期売上増加や5G向け情報通信機器の需要増を見込むとともに、デバイス事業においては、車載関連顧客をはじめとした新規商権の獲得や半導体・電子部品の新規商材の取扱い開始による増加を見込んでおります。

このような事業環境を踏まえ、2021年度の連結業績予想につきましては、売上高153,000百万円を見込んでおります。利益面におきましては、売上総利益率の改善ならびに販管費の減少により営業利益は3,200百万円、経常利益は3,000百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は1,900百万円を予想しております。

※2021年度の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号。以下「収益認識会計基準」という。)等を適用するため、上記の連結業績予想は当該会計基準を適用した後の金額となっております。収益認識会計基準等の適用による2021年度の売上高の影響額は次の通りです。

(単位:百万円)

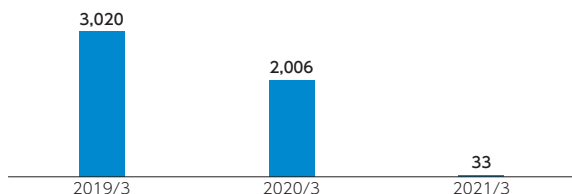
	従来の会計基準	収益認識会計基準	影響額
2021年度 売上高予想	238,000	153,000	85,000

(注)代理人取引と判断される一部の取引について、これまでの顧客から受け取る対価の総額を収益として認識し売上計上していましたが、収益認識会計基準等の適用により、顧客から受け取る対価から仕入先に支払う額を控除した純額表示に変更する予定です。

経常利益

(単位:百万円)

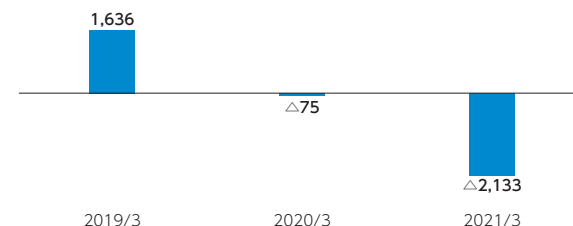
33百万円



親会社株主に帰属する当期純損益

(単位:百万円)

△2,133百万円



Q3**配当金について教えてください。****POINT****A3**

2020年度の1株当たりの年間配当金は16円となりました。2021年度の年間配当金は30円を予定しています。

株主の皆様への利益配分につきましては、継続的な利益還元を基本としたうえで、業績に応じ積極的に利益還元を行うよう業績連動型の配当方式を採用し、配当性向を重視して決定しております。配当額は、連結配当性向30%以上を目安として決定していく方針です。

2020年度の年間配当金につきましては、1株当たり16円(うち中間配当金8円)といたしました。2021年度の年間配当金につきましては、1株当たり30円(うち中間配当金10円)を予定しております。

Q4**中期経営計画の取り組みについて教えてください。****POINT****A4**

「新たな価値を創造するビジネスモデルの構築」「成長市場に向けた事業開発の促進」「持続可能な社会への貢献」の3つの基本方針のもと、既存事業の基盤強化と新規事業の創出により収益力の向上に取り組んでいます。

デバイス事業では、付加価値の高い製品やサービスをソリューション提供することにより、事業収益の最大化を目指すとともに、新たなビジネスモデルの確立と、適材適所の人材配置で生産性の向上に取り組んでまいります。

1. 高付加価値ビジネスの推進

半導体製品を中心に電子モジュール、ソフトウェアなど当社が取り扱う幅広い商材を組み合わせお客様に提案し、顧客シェアの一層の拡大を図ります。また、米国アロー・エレクトロニクス社との提携によるグローバルな販売ネット

ワークなど当社ならではのサービスを強みとして、新規顧客とのビジネス拡大に取り組みます。

2. 成長市場での事業拡大

自動車、情報通信、医療・介護、産業機器、IoTなど今後も成長が期待される分野において、斬新でユニークな商材を発掘し、導入支援コンサルティングを提供することで新たな市場を開拓します。

3. 新たなビジネスモデルの構築

ライセンス販売やサブスクリプション販売など新たなビジネスモデルの構築を推進してまいります。また、デジタルマーケティングの推進やロボティクス技術の活用により、業務オペレーションのさらなる効率化を図ってまいります。

システム事業では、技術革新やお客様ニーズを機敏に捉え、当社が有する高い専門性をベースにした製品・技術・サービスで差別化を図り、お客様の市場競争力を高めるとともに、より高収益な事業を目指した取り組みを推進してまいります。

1. 取扱い製品の差別化

当社取扱い製品と技術ノウハウを組み合わせ、お客様の要求に応じた装置のカスタマイズ化やモジュール化などのシステムインテグレーションの機能の高度化に取り組めます。また、デジタルトランスフォーメーションの進展を見据え、新たな商材の開発とソリューション提案力の強化を促進し、ローカル5Gやスマートファクトリーなどの新たな市場の需要取り込みを進めます。

2. サービスの差別化

当社グループは製品販売から保守サービスを含めたトータルサポートを強みとしております。当社はグループ内に保守・メンテナンスを担う企業を有しており、長年培った経験と技術をベースに応用力を一層高め、フィールドサービスの領域拡大を推進してまいります。また高い専門性を有した人材の確保と育成に努め、さらなる技術優位性の確保に努めてまいります。

3. グループ総合力の発揮

グループ間の連携を一層強化し、当社グループの事業リソースを最大限に活用した取り組みを推進することにより、取扱い製品の販売エリア拡大、市場シェアの向上を図ります。



セグメント別事業の概況

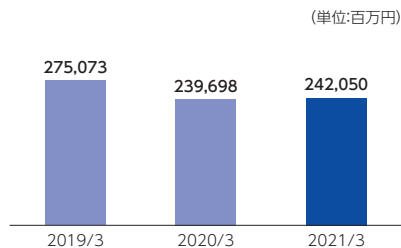
Performance by Operating Segment

デバイス事業

売上高 **242,050**百万円(1.0%増)

セグメント損益 **△951**百万円(-)

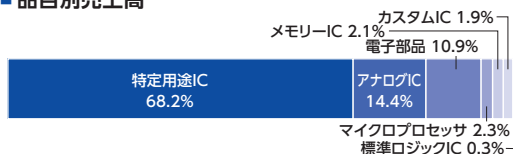
■売上高実績



■事業の動向

デバイス事業は、テレワークや巣ごもり需要の拡大を背景に、通信機器や民生機器向け半導体が伸長し、売上高は前年同期比1.0%増の242,050百万円となりました。一方、セグメント損益は、相対的に利益率の高い商品の売上が減少したことや期中の円高進行により円ベースの売上総利益が押し下げられたため、951百万円の損失(前年同期は591百万円のセグメント利益)となりました。

■品目別売上高



■主要取扱商品

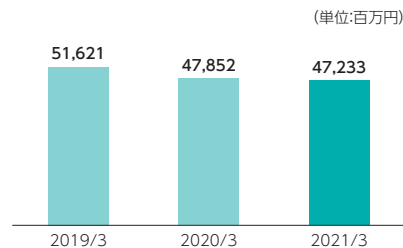
半導体 (アナログIC、メモリーIC、マイクロプロセッサ、特定用途IC、カスタムIC)、電子部品 (水晶振動子、コネクタ、プリント基板、モジュール等)

システム事業

売上高 **47,233**百万円(1.3%減)

セグメント利益 **1,983**百万円(11.0%増)

■売上高実績



■事業の動向

システム事業は、電子部品の組立検査装置が好調に推移し、医用機器の売上も増加いたしました。一方、コロナ禍における企業の設備投資の鈍化やプロジェクト案件の計画遅れが発生した影響により、人工衛星向け高信頼性部品や各種センサー、レーザ加工装置の需要が減少し、売上高は前年同期比1.3%減の47,233百万円、セグメント利益は売上総利益率の改善および販管費の節減により前年同期比11.0%増の1,983百万円となりました。

■品目別売上高



■主要取扱商品

航空宇宙機器、産業機器、レーザ機器、情報通信機器、医用機器

ステトミー社と日本総代理店契約を締結 ～ステトミー電子聴診器の取扱い開始～

当社は2020年12月、遠隔医療ソリューションを提供するポーランドのStethoMe sp. z o.o. (ステトミー社)と日本総代理店契約を締結し、同社が製造する「ステトミー電子聴診器」の取扱いを開始しました。

ステトミー電子聴診器は、AI聴診音解析アルゴリズムを備えており、肺の副雑音と呼吸周期を検出することができます。聴診器で取得した聴診音データはAI解析の結果を付加して、医師に提供することが可能となります。

情報通信技術の進展に伴い、2018年にオンライン診療が初めて保険適用され、2020年は限定的にオンライン診療による初診が容認されるなど、今後、遠隔医療の運用拡大が望まれます。

これまでも当社では、医療・ヘルスケア分野への取組みを進めてきましたが、本製品はオンライン診療の拡充に有用なデバイスであり、遠隔医療の推進および普及の一助になることを期待しています。長年、国内外の先端技術製品を扱ってきたエレクトロニクス商社として、変革する医療・ヘルスケア分野へ商品やサービスの提供を通じて社会に貢献してまいります。



〈ステトミー電子聴診器〉

*スマートフォンは販売の対象ではありません。また、スマートフォンの専用アプリは医療機器プログラムに該当しません。

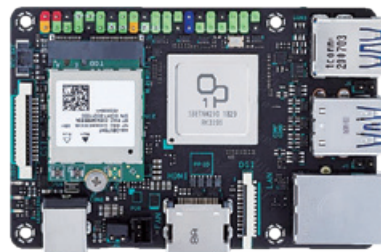
ASUS社の産業用組み込みコンピュータの取扱い開始 ～AI・IoT分野でソリューション販売を加速～

当社は2021年1月、ASUSTek Computer Inc. (ASUS社)内の一部門で産業向けの組み込みハードウェア、ソフトウェアの包括的なソリューションを提供するASUS AIoTビジネスグループ (以下ASUS IoT) の組み込みコンピュータ製品の販売を開始しました。

ASUS IoTが提供する小型SBCやマザーボードを中心とした組み込みコンピュータと、モノのインターネット (IoT) デバイス管理や人工知能 (AI) などのソフトウェアは、産業オートメーション、医療機器、ATM、POSなどの既存分野に加え、IoT、AI、機械学習領域などの新たなアプリケーション分野でも活用が見込まれます。

当社は、1980年代より信頼性の高い産業用組み込みコンピュータの販売および技術サポートを提供してきました。国内ビジネスで培ってきたノウハウとASUS IoTの包括的なソリューションが組合わされるシナジーにより、お客様のスムーズな製品開発、市場競争力を高めてまいります。また、AI・IoT分野での組込技術の更なる普及、発展に貢献してまいります。

※SBC: シングルボードコンピュータ。主に名刺大サイズの小さな電子基盤にCPUや周辺機器、入出力インターフェース等の必要なものに絞った機能や要素を実装したコンピュータのこと。



〈ASUS社製SBC TinkerBoardシリーズ〉

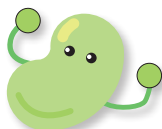
丸文の豆知識

今回は、西日本エリアを中心に、システム事業に係わる製品の販売を行う「丸文ウエスト株式会社」を紹介します。

丸文ウエストってどんな会社？

兵庫県神戸市を本拠地として、分析・試験・計測・理科学分野等の製品を取り扱っています。最新の技術、商品、サービスを地域に密着したサポート体制で提案し、お客様の新たな価値の創造をお手伝いしています。2005年に丸文の神戸支店から分社化し、今年で17年目を迎えました。

丸文のシステム事業とも協業して、国内外の豊富な製品群の中から、お客様の役に立つソリューションは何かを常に考え、地域に密着して営業活動しているよ。

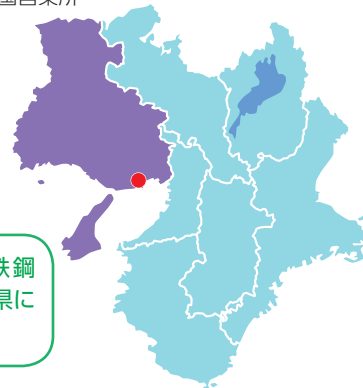


丸文ウエストの所在地

本店所在地：兵庫県神戸市中央区海岸通2-2-3 東和ビル
営業所：姫路営業所、四国営業所



電気機械メーカーや鉄鋼メーカーが集まる兵庫県に位置しているんだね。



丸文ウエストの歴史

- 1948年 ● 丸文株式会社 京都支店 神戸出張所を開設
- 1952年 ● 神戸出張所から神戸支店に昇格
- 2005年 ● 丸文株式会社神戸支店から分離独立し、丸文ウエスト株式会社を設立
- 2008年 ● 姫路営業所を開設
- 2015年 ● 四国営業所を開設

丸文ウエストの“道を拓き、先駆けること”の企業精神は丸文のDNAを受け継いでいるんだ！



〈丸文ウエスト取扱い製品一例〉

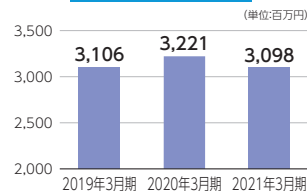
プロフィール

社 名 丸文ウエスト株式会社
資 本 金 3,000万円
代 表 者 代表取締役社長 藤原 忠
社 員 数 36名(2021年4月1日現在)
事業内容 分析機器、試験機器、計測機器、理科学機器
電子応用機器等の販売



〈代表取締役社長 藤原 忠〉

売上高推移



● 連結貸借対照表(要旨)

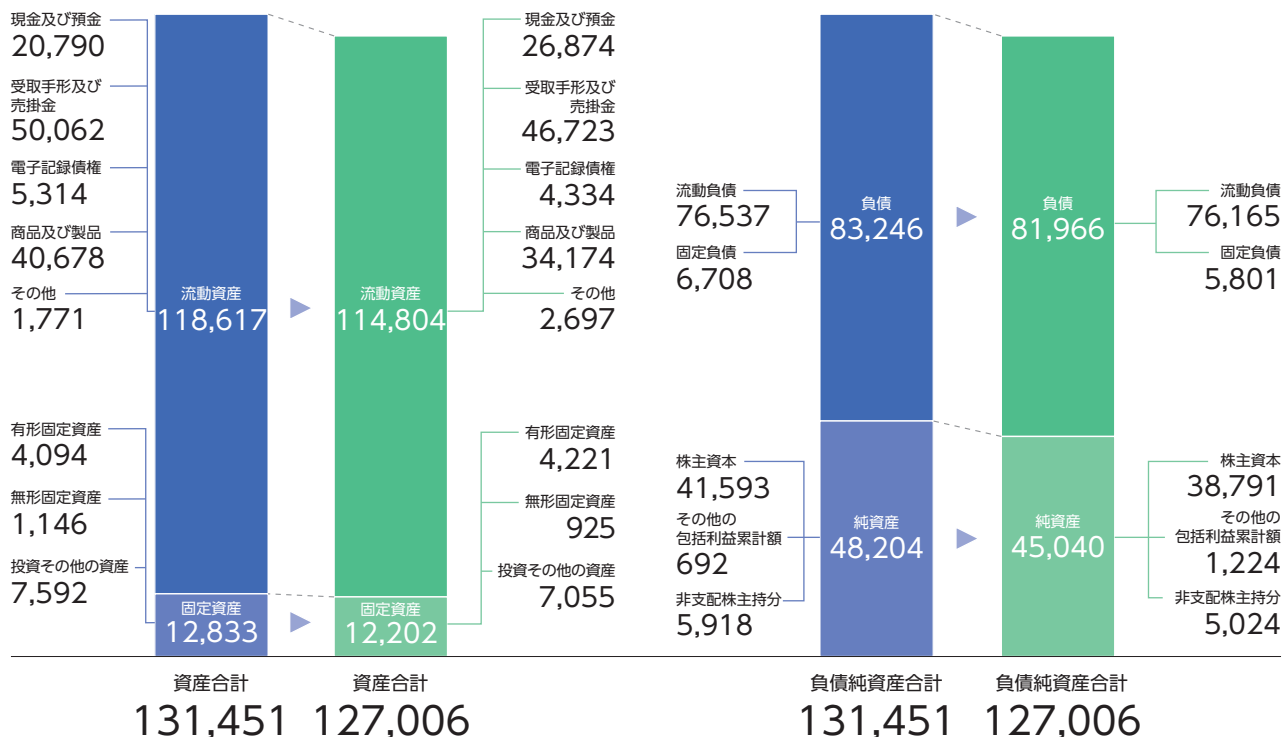
(単位:百万円)

前期末(2020年3月31日)

当期末(2021年3月31日)

前期末(2020年3月31日)

当期末(2021年3月31日)



■ 資産について

資産合計は前期と比べ4,444百万円減少し、127,006百万円となりました。これは主に「現金及び預金」が増加した一方で、「商品及び製品」や「受取手形及び売掛金」がそれぞれ減少したことにより、流動資産が3,813百万円減少したことによるものです。

■ 負債について

負債合計は前期と比べ1,279百万円減少し、81,966百万円となりました。これは主に「支払手形及び買掛金」が増加した一方で、「短期借入金」や「退職給付に係る負債」がそれぞれ減少したことによるものです。

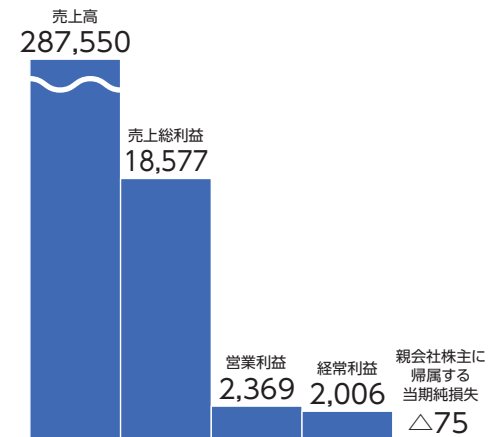
■ 純資産について

純資産合計は前期と比べ3,164百万円減少し、45,040百万円となりました。これは主に「利益剰余金」や「非支配株主持分」がそれぞれ減少したことによるものです。

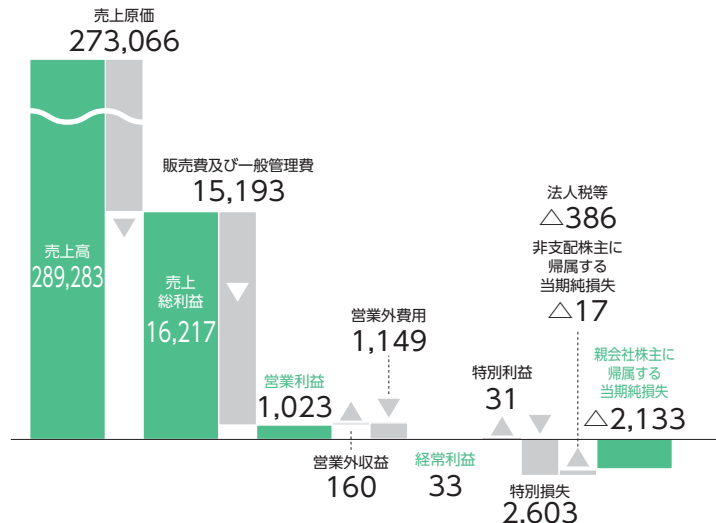
● 連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

前期(2019年4月1日～2020年3月31日)



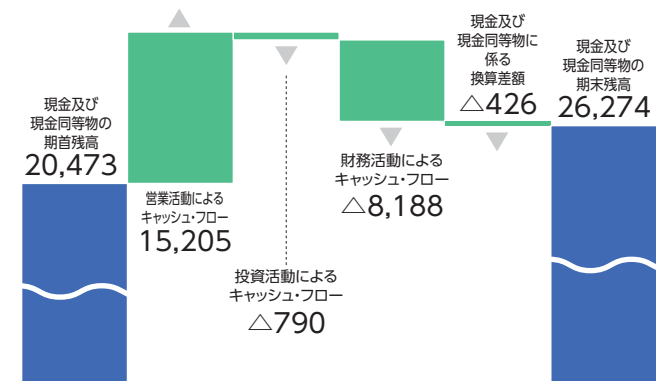
当期(2020年4月1日～2021年3月31日)



● 連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

当期(2020年4月1日～2021年3月31日)



■ 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は15,205百万円(前年同期は309百万円の支出)となりました。これは主にたな卸資産や売上債権の減少および仕入債務の増加があったことによるものです。

■ 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は790百万円(前年同期は582百万円の支出)となりました。これは主に定期預金の預入による支出や有形固定資産の取得による支出があったことによるものです。

■ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は8,188百万円(前年同期は5,188百万円の収入)となりました。これは主に短期借入金の減少や長期借入金の返済による支出があったことによるものです。



株式の状況

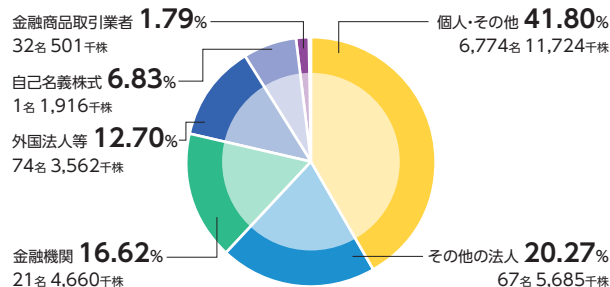
発行可能株式総数	100,000,000株
発行済株式総数	28,051,200株
1単元の株式数	100株
株主数	6,969名

大株主

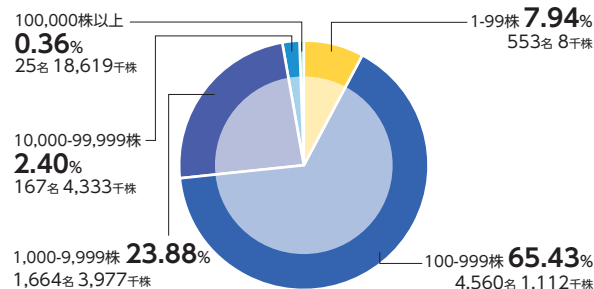
株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
ARROW ELECTRONICS, INC. 590000	2,350	8.38
一般財団法人丸文財団	2,304	8.21
堀越 毅一	2,001	7.14
丸文株式会社	1,916	6.83
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	1,482	5.28
株式会社千葉パブリックゴルフコース	1,399	4.99
合同会社堀越	800	2.85
堀越 裕史	766	2.73
堀越 浩司	754	2.69
堀越 百子	602	2.15

株式の分布状況

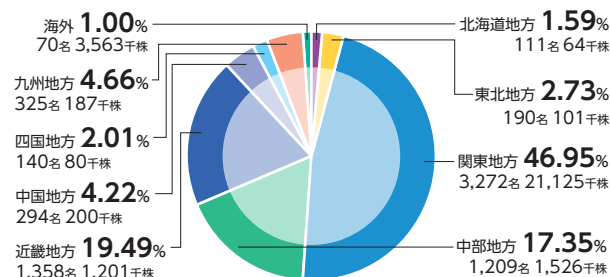
所有者別



所有株数別



地域別





■ 会社概要

会社名	丸文株式会社 (英文名称 MARUBUN CORPORATION)
所在地	〒103-8577 東京都中央区日本橋大伝馬町8-1
設立	1947年（昭和22年）
創業	1844年（弘化元年）
資本金	6,214,500,000円
従業員（単体）	623名
主な事業内容	半導体・電子部品、電子応用機器を国内外で 販売するエレクトロニクス商社

■ 役員（2021年6月25日現在）

代表取締役社長	飯野 亨
代表取締役副社長	岩元 一明
常務取締役	藤野 聡
取締役	今村 浩司
取締役	堀越 裕史
社外取締役 監査等委員	柿沼 幸二
社外取締役 監査等委員	茂木義三郎
社外取締役 監査等委員	渡邊 泰彦

■ 国内拠点

本社
中部支社
関西支社
大宮支店
立川支店
郡山オフィス
宇都宮オフィス
水戸オフィス
長岡オフィス
北陸オフィス
長野オフィス
松本オフィス
三島オフィス
静岡オフィス
京都オフィス
九州オフィス
南砂テクニカルセンター
東日本物流センター
南砂物流センター

■ 主なグループ会社



■株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月に開催
基準日 期末配当：毎年3月31日
中間配当：毎年9月30日
公告の方法 電子公告により行う
公告掲載URL <https://www.marubun.co.jp/>
(ただし、電子公告によることができない事故、
その他のやむを得ない事由が生じた時には、日
本経済新聞に公告いたします。)

株主名簿管理人 (特別口座管理機関)
同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日鋼町1-1
電話 0120-232-711 (通話料無料)
郵送先 〒137-8081
新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

【ご注意】

- (1) 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- (2) 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店にてもお取次ぎいたします。
- (3) 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いたします。

IR情報メール配信登録のご案内

当社の情報を迅速にお届けするため、IRに関するプレスリリースやコンテンツの更新を行った際に電子メールにてお知らせいたします。

ご登録は、当社ホームページにて承っております。

<https://www.marubun.co.jp/ir/irreg1.html>

Ⅰ単元未満株式保有の株主様へ

単元未満株式（100株未満の株式）の買取りにかかる手数料を無料としています。是非ご利用ください。

単元未満株式の 買取制度	市場で売却できない単元未満の株式を 当社が市場価格で買取りする制度です。
-----------------	---

買取制度の例(150株ご所有の場合)



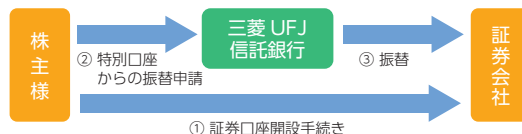
お問合せ先	口座を開設されている証券会社等 ※特別口座の場合は、三菱UFJ信託銀行
-------	--

Ⅱ証券会社にお預けではない株式について

ご所有株式は、「特別口座」で管理されています。特別口座では株式を市場で売買できないなどの制約がありますので、証券会社の口座へ移されることをお奨めいたします。

**「特別口座」から証券会社の口座への振替方法に
つきましては、以下の手順にて、振替が可能です。**

- ① 証券会社に株主様ご名義の口座を開設
- ② 三菱UFJ信託銀行に振替申請
(電話 0120-232-711 (通話料無料))
- ③ 三菱UFJ信託銀行が振替処理



なお、詳しいお手続き等は、左記の特別口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。